

わ く わ く

5月号

本 だ な

1 2 3 年



ホームページも
みてね!



E 『 さくらちゃんのかえりみち 』

かさいまり／作 吉田尚令／絵 Gakken

さくらちゃんのいえは、^{がっこう}学校のすぐとなり。学校から1ふんでついてしまうので、^{とも}友だちといっしょにかえったことがありません。そんなある日、てんこうせいのあおいちゃんに「いっしょにかえろう」とさそわれて、さくらちゃんはいえがとおいふりをしてしまいました。

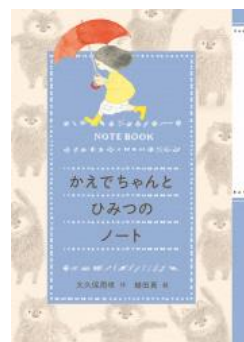
えほん

K913 『 かえでちゃんとひみつのノート 』

大久保雨咲／作 植田真／絵 小峰書店

かえでちゃんは、てんこうせいです。ひとりぼっちでさびしいかえでちゃんは、ノートに〈もじゃりん〉をかきました。クマみたいないきものもじゃりんは、ノートをとじると動きだします。もじゃりんはノートの中で、かえでちゃんをドッジボールにさそう^{こえ}声をききました。

ものがたり



K933 『 そんなのうそだ! 』

ジーン・メリル／作 小宮由／訳 坂口友佳子／絵 岩波書店

なまけもののサルとブタとキツネは、^{ちい}小さな村にすんでいます。ある日、^ひごうかな服を着たイヌが^{むら}村にやってきました。三びきは、イヌから服をうばい^{かんが}とってやろうと考えて、つくりばなしでイヌをだまそうとします。

ものがたり

K686 『 えきにいこう 』

ほるぷ出版

^{きょう}今日は、はじめて^{ひとり}一人で^{でんしゃ}電車にのる日。きっぷをかって、かいさつをとおり、電車がくるホームにむかいます。ホームにつながるかいだんは、ふたつありました。「どっちにいけばいいのかな？」こまったときは、えきいんさんにきいてみましょう。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わくわく

5月号

本だな

4 5 6 年



ホームページも
みてね!



物語



K913 『おとな体験授業?』

なかがわちひろ/作 アリス館

特別授業の時間、あすかたちは「どんな大人になりたいか」を紙に書いて、先生が用意したふしぎな金色の液体に入れました。すると、教室はけむりにつつまれて、気が付くとあすかは別の世界で大人といっしょにはたらいしていました。

しかも、あすかは「マンガ家になりたい」と書いたはずなのに、なぜかラーメン屋になっていたのです。

物語

K913 『あずきの絆 ぼくが図書室で出会った妖怪』

高森美由紀/作 岩崎書店

本好きの蓮と図書委員の野田さんが図書室に入ると、あやしい男がいました。男は、〈小豆洗い〉という妖怪だと名乗ります。ほかの妖怪に、「小豆を洗うしか能がない」とバカにされたので、小豆の使い道を知るために図書室に来たそうです。

小豆洗いにたのまれて、蓮たちはいっしょにおはぎを作って、妖怪たちの祭りで配ることになりました。



ちしきの本



K645 『タカシ 大丈夫な猫』

荻谷夏子/著 岩波書店

タカシは、ケイコさんの家で飼われているネコです。生まれただばかりのころに事故にあい、右側の前足と後ろ足を失いました。お医者さんには、立つことはできないかもしれないと言われていましたが、タカシは2本の足で立ちあがったのです。

それだけではなく、タカシは走ったり木に登ったりする方法も身につけて、力強く生きていきます。

図書館のまどぐちには、くみたとすると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね! <編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200